

# 英語

## Unit 5 A Park or a Parking Area? Big Project

2年1組

授業者 高野 香保里 田崎 翠 AET

### ■ 単元の目標

- 情報をできるだけ正確に伝達し合うことができる。
- 5W1Hに留意して、事件内容を聞き手にわかりやすく報道することができる。

### ■ I C T 活用の視点

#### ○ 思考を促す道具としての ICT の活用

プロジェクターやテレビを活用することによって、文字による情報確認やイメージの広がりを期待する。

#### ○ 創造性を促す道具としての ICT の活用

アナウンサーのニュース報道場面で、テレビモニターを活用し、臨場感を促す。

#### ○ 本時における ICT 機器の位置づけ

ICT 機器を活用することによって、文字やリアルな画像を投影できるので、臨場感あふれる場面設定や生徒の正確な情報理解が期待できる。

### ■ 本時の授業の概要

本時は、ある事件についてのニュースを、現実の報道の流れに沿って教室で実践する学習を行う。情報が正確に伝わることやわかりやすい報道方法の工夫が学習のポイントとなる。

学習活動	指導上の留意点
1. 本時の学習課題を理解する。  Let's broadcast the news!	事件の情報をできるだけ正確に伝えて報道することと説明する。
2. 各テレビ局のリポーターは、事件の目撃者である AET に事件の概要を英語で聞き、情報を簡潔にメモする。	各テレビ局ごとにグループで活動する。
3. リポーターは、ライターに情報を伝え、ライターは放送原稿を完成させる。	リポーターは 5W1H に留意して、ライターに情報を伝えるよう助言する。
4. ライターから放送原稿を受け取ったアナウンサーは原稿の読み上げ練習を始める。	ライターは、視聴者の興味・関心を引き、かつわかりやすい放送原稿を書くよう助言する。
5. 各テレビ局のアナウンサーがテレビモニターで事件内容を放送発表する。	各テレビ局のアナウンサーは、受け取った放送原稿の内容を確認し、5W1H を意識して、わかりやすく原稿を読み上げる練習をするよう助言する。
6. 自己評価をする。	各テレビ局のリポーターとライターはアナウンサーの練習を見守り、適宜助言する。
	アナウンサーは、各テレビ局ごとに順番にテレビモニターを通して事件を報道する。 目撃者である AET は、どのテレビ局の報道が最も正確かつ印象的に報道しているか審査をする。
	次の2点について評価する。 ○ 情報をできるだけ正確に伝達し合うことができたか。 ○ 5W1H に留意し、事件内容を聞き手にわかりやすく報道することができたか。